

公立高校入試情報 宮崎県

【社会】

令和6年度宮崎県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
- 大問は、地1・歴1・公1・地歴公1の計4問。
- 小問数は44問（昨年37問）
- 文章記述問題は6問（昨年は5問）
- 出題傾向について
- 記述問題は全て穴埋め式。解答欄の前後に合わせた適切な記述ができる力が必要。
- 地理分野では産業の統計データから県を特定する問題や、南海トラフに関する問題など幅広く出題されている。
- 歴史分野では系図を読み取って答える問題が出題されている。
- 公民分野では資料の数値の読み取り、資料から問題点を考察する問題が出題。

■ 資料読み取り問題の出題

- ・各分野において、統計やグラフ、系図など資料からの読み取って考察する問題が出題されるので、さまざまな資料に慣れておくことが必要。

■ 諸地域の特徴を読みとる問題の出題

- ・地理分野では、統計データから場所を特定する問題の出題もあるため、各地域の特徴をおさえておく必要がある。

★宮崎県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿		●	●	●
		日本の姿	●	●	●	●
		世界各地の人々の生活と環境	●		●	●
		アジア州	●	●	●	●
		ヨーロッパ州, アフリカ州	●	●		●
		北アメリカ州, 南アメリカ州, オセアニア州	●	●		●
		地域調査の手法			●	
		日本の自然, 人口	●	●	●	●
		日本の資源・産業, 世界との結びつき	●	●	●	
		九州地方, 中国・四国地方	●	●	●	●
		近畿地方, 中部地方		●		●
		関東地方, 東北地方, 北海道地方	●	●	●	
	歴史的分野	文明のおこりと日本				
		古代国家の歩み	●		●	●
		中世社会の展開	●	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●			
		近世社会の発展	●	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国		●	●	●
		近代日本の歩み	●	●	●	
		二度の世界大戦と日本		●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●	●
	公民的分野	現代社会と私たちの生活	●		●	
		個人の尊重と日本国憲法		●		●
		現代の民主政治, 国会		●	●	●
		内閣・裁判所, 三権分立	●		●	
		地方自治	●	●	●	●
		消費生活と流通・生産, 市場経済と金融	●	●	●	●
		財政, 国民生活と福祉	●	●		●
地球社会と私たち		●	●			
分野統合	●		●	●		
出題形式別の傾向	大問数	4	4	4	4	
	小問数	42	33	37	44	
	記号解答	14	20	24	31	
	用語記述	8	4	8	7	
	文章記述	20	9	5	6	
	作業・作図					